

9月市議会・根本市議の一般質問②

9月市議会の一般質問で、日本共産党の根本みはる市議は、「児童虐待防止の対策とスクールソーシャルワーカーの増員、児童相談所の設置」を求めて、市当局の姿勢をたどりました。

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

こどもの最善の利益を守り

児童虐待防止のために

東京・目黒区、千葉県野田市での幼い命が守れなかった、痛ましい虐待死事件を受けて、今年6月の国会で、児童強化を図る児童福祉法等の一部を改正する法律が成立しました。豊田市では、平成29年度児童虐待死亡事例について、外部検証委員会から報告書が提出されています。

児童虐待検証委員会の提言を

踏まえた虐待防止対策の充実

虐待防止対策は、どう図られるかの質問に、外部検証委員会から、虐待の発生予防および早期発見、多胎家庭に対する支援の充実など、5項目の提言が出され、体制強化が図られることが答弁されました。

相談体制の充実と、市の児童相談所の設置

学校においては、相談支援のしくみが必要とされ、学校で活動するスクールソーシャルワーカーは、福祉の専門性を有し、貧困、障がい、虐待など家庭の状況から、こどもの最善の利益を保障するために重要な役割を担う人材で、文科省は全中学校区への配置を目指しています。

相談事例の増加や、複雑化、長期化する中、スクールソーシャルワーカーなど、相談支援の強化

子どもと戦争 ― 次世代に語り継ぐこと

第32回平和を願う戦争展に1400人訪れる

8月30日から3日間、豊田市平和を願う戦争展が豊田産業文化センターで開かれました。3日間の開催は、豊田では初めてでしたが、会期中1400名を超える市民が訪れました。協賛企画の催しは、満席で入場をお断りするほどの盛況でした。展示の中心は、「子どもと戦争」をテーマに子どもの本9条の会の「戦争なんか大きらい」原画展と戦争の頃の少女たちのパネル展示でした。

「掘り下げた展示に、戦時の教育が子供の成長を無視した兵隊づくりだと理解できた」という感想がありました。協賛企画の被爆ピアノコンサートには、予想を超えた人数が訪れ、入りきれなかった方にはご迷惑をおかけしました。友情出演されたプロ演奏家の演奏、子どもたちの歌声、群読に感動の拍手が鳴りやみませんでした。

原画展の作者のひろかわさん講演会、戦争体験をきく会、

が必要です。根本市議は、スクールソーシャルワーカーの配置を中学校区ごとに増やして、子どもと家庭への相談支援の強化が必要と提起。答弁では、必要性は認識しているが、人材確保、財政面を勘案し判断することとした。

市の児童相談所の設置には、児童相談所で、介入機能と支援機能を一体的に設置することになり、必ずしも効果があるとは限らないと答弁がありました。市のこども条例に照らした施策の充実が求められます。



朗読劇「ヒロシマの空」、どれも次の世代に戦争のない国を手渡そうという、力強いメッセージが伝わりました。

開催にご協力いただいた関係者の皆様、暑い中で参加いただいた皆様、ありがとうございます。今後も、さらにご期待に応える戦争展を目指し、平和を守る種まきを皆様と続けてまいります。よろしく願いいたします。

2019年9月7日
豊田市平和を願う戦争展

実行委員会



どうする豊田市政 市長選を考える集い

来年2月の豊田市長選挙にむけて、豊田市政のことを話し合う会合が14日、市内で開かれ約40人が出席しました（左写真）。主催は、住みよい豊田を創る会。

まず開会のあいさつを、住みよい豊田を創る会の本多弘司・共同代表が行い、続いて会合が開かれるまでの経過を小林おさむ元県会議員が報告しました。

豊田市政について20人が発言。下記のような意見が出されました。

- ・ 新しい市長は、大企業と一定の距離を保ち、市民感覚をもった方がよい。
- ・ 豊田市中心図書館の管理者指定期間は、5年契約ではなく3年契約に縮めるべき。
- ・ 猿投駅前に公衆トイレ必要。
- ・ 渡刈町に良い福祉施設があるが（豊寿園）、公共交通がない。刈谷市の高齢者施設には公共バスあり。
- ・ 学校の教室にエアコンがついて良かった。
- ・ 都心ばかりお金使って、歩道や公園は雑草がひどい。
- ・ 交流館によって子育てサロンの大きさはまちまち。子育てサロンを充実させて。
- ・ 市が力を入れないと、医者 が市外へ行ってしまふ。
- ・ 介護老人保健施設を造って。旧町村地域に力を入れてほしい。

市会議員の中島竜二さん、根本美春さんも発言し、岡田耕一さんはメッセージを寄せました。閉会のあいさつを社民党の田中九思雄さんが行いました。

（本多のぶひろ）

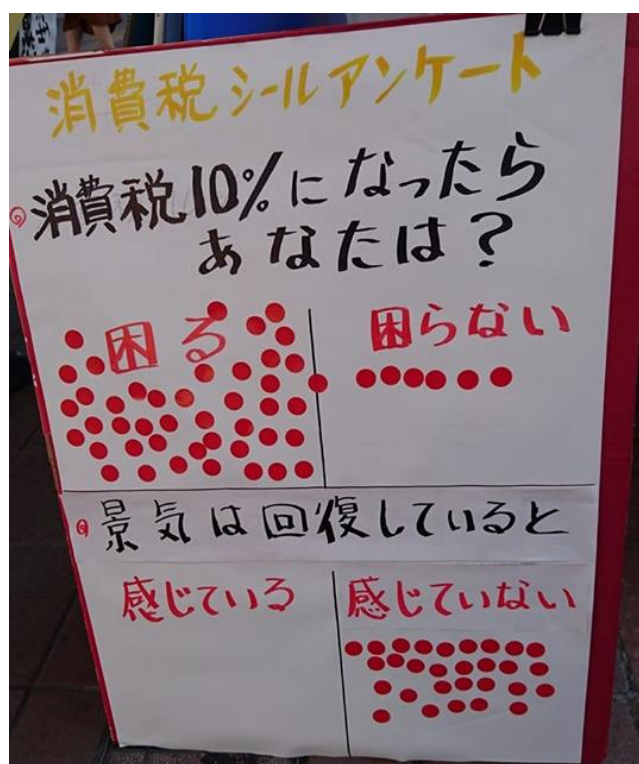


客観性・透明性のある 中央図書館指定管理者評価を

9月議会では、豊田市の図書館を考える市民の会から「豊田市中心図書館管理運営仕様書に合わせた項目を書き込んだ評価表を作成し、図書館の専門家を交え、客観性・透明性のある評価をしてください。」（2）指定管理者制度を継続するならば、契約期間は3年にしてください」との陳情書が提出され、教育社会委員会で根本市議は賛成の立場で意見を述べました。

「図書館の指定管理者評価というのは、指定管理者に求められる図書館業務の実績について、専門性のある第三者を交えて、公平に、市民の前に内容を明らかにして行うべきと考えます。平成29年度中央図書館収支決算報告書に記載された人件費は、市民の行った情報公開請求においても、市議会の質問においても明らかにされておらず、重ねて、評価基準については、他市の指定管理者評価の評価基準と比較して評価項目が少なく、基準の根拠が明確に示されないなど、評価の前提が崩れていると言わざると得ません。3年の指定管理期間が終

わり、契約期限を迎えるこの機会に、評価基準のあり方を見直し、客観性・透明性が確保された上での厳正な評価が求められます。」として陳情事項に賛成の意見を述べたのに対し、他の委員からは、「学識経験者を含む図書館協議会で客観性のある評価がされている。」「入館者数が増加して評価すべき」「原則5年の指定期間が妥当」として、不同意の意見が述べられました。



日本共産党豊田市委員会は15日、消費税率を上げないよう求めて豊田市駅前で宣伝しました。シール投票も呼びかけ、10%「困る」は43名、「困らない」は6名でした。

消費税率あげるな宣伝 シール投票「困る」88%

9月議会最終日。傍聴にお越しください。

9月24日(火) 午前10時～

豊田市役所の南庁舎8階 傍聴受付

議案・決算認定について、討論をおこない、採決が行われます。